

平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
第2回スポーツ部会議事録

1 日時：平成27年5月26日（火）13：00～17：00

2 場所：千葉市議会棟 3階 第2説明員控室

3 出席者：

(1) 委員

横山 清亮委員（部会長）、織戸 正道委員（副部会長）、
内山 英昭委員、小川 直哉委員

(2) 事務局

丸島生活文化スポーツ部長
山根市民総務課長、佐久間市民総務課長補佐、宮本主査、
石垣主事、山本主事
安藤スポーツ振興課長、山崎スポーツ振興課長補佐、菅野主査、
草場主任主事、岡崎主事
竹本公園管理課長、中臺主査、長瀬主任主事、林主事
田野花見川区地域づくり支援室長、加藤主任主事

4 議題：

(1) 平成26年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について

ア 千葉市こてはし温水プールについて

イ 千葉市スポーツ施設等について

(ア) 千葉市スポーツ施設（高洲市民プール 他7施設）

(イ) 千葉市都市公園施設（千葉公園野球場 他25施設）

(ウ) 千葉市花見川区花島コミュニティセンター

(2) その他

5 議事概要：

(1) 平成26年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について

ア 千葉市こてはし温水プールについて

まず、平成26年度の「指定管理者評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て事務局案を承認するとともに、次期指定管理者の選定に向けた意見を部会として取りまとめ、決定した。

イ 千葉市スポーツ施設等について

(ア) 千葉市スポーツ施設（高洲市民プール 他7施設）

まず、平成26年度の「指定管理者評価シート」について事務局から説明の後、

意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て事務局案を承認するとともに、次期指定管理者の選定に向けた意見を部会として取りまとめ、決定した。

(イ) 千葉市都市公園施設（千葉公園野球場 他 25 施設）

まず、平成 26 年度の「指定管理者評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て事務局案を承認するとともに、次期指定管理者の選定に向けた意見を部会として取りまとめ、決定した。

(ウ) 千葉市花見川区花島コミュニティセンター

まず、平成 26 年度の「指定管理者評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て事務局案を承認するとともに、次期指定管理者の選定に向けた意見を部会として取りまとめ、決定した。

(2) その他

今後の予定及び議事録の公開について、事務局から説明した。

6 会議経過：

○佐久間市民総務課長補佐 委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。それでは、定刻となりましたので、平成 27 年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第 2 回スポーツ部会を開会いたします。

私は、本日、司会を務めさせていただきます市民総務課の佐久間でございます。どうぞよろしくお願いいたします。本日の会議でございますが、市の情報公開条例第 25 条に基づきまして、公開されております。ただし、一部非公開の部分がございますので、あらかじめご承知おきください。傍聴人の方におかれましては、傍聴人要領に記載されている事項を遵守されるようにお願いいたします。なお、本日は、地球温暖化防止対策の一環といたしまして、職員は軽装とさせていただきますので、ご了承ください。

続きまして、委員の方のご紹介でございますが、恐れ入りますが、お手元のファイルの資料 2「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会委員名簿」をもちまして、ご紹介にかえさせていただきます。なお、谷藤委員さんにおかれましては、本日は所用によりご欠席というご報告をいただいております。

次に、事務局職員につきまして、紹介いたします。

生活文化スポーツ部長の丸島でございます。

千葉市こてはし温水プール及び千葉市スポーツ施設を所管します、スポーツ振興課長の安藤でございます。

市民総務課長の山根でございます。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、生活文化スポーツ部長の丸島からご挨拶を申し上げます。

す。

○丸島生活文化スポーツ部長　それでは、皆さん、先週に引き続きまして、毎週で大変恐縮でございますが、第2回スポーツ部会ということで、本日は、こてはし温水プールとスポーツ施設、その他でございます。スポーツ施設の数が多くて、また大変恐縮でございますが、内容としましては、先週と同じように、昨年度の評価と、それから今回の指定管理者の全体を通しての総合評価ということで、評価をお願いしたいと思います。

お暑い中、大変恐縮でございますが、よろしく願いいたします。

○佐久間市民総務課長補佐　それでは、議事に入ります前に、資料の確認を改めてさせていただきます。

まず、ファイルに綴じていない資料で、「次第」と「席次表」がございます。続きまして、ファイルをお開きいただきまして、資料一覧に沿って確認をさせていただきます。資料1が「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第2回スポーツ部会進行表」、資料2が「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会委員名簿」、資料3が「スポーツ部会で審議する公の施設一覧」、資料4は「千葉市こてはし温水プール」の平成26年度の評価に関する資料として、4種類ございます。4-1が「指定管理者評価シート」、4-2が「事業計画書」、4-3が「事業報告書」、4-4が「計算書類等」でございます。資料5は「千葉市こてはし温水プール」の総合評価に関するものでございまして、2種類の資料がございます。5-1が「総合評価資料」、5-2が「総合評価シート(案)」でございます。資料6は「千葉市スポーツ施設」の平成26年度評価に関する資料、資料7は同じく「千葉市スポーツ施設」の総合評価に関する資料、資料8は「千葉市都市公園施設」の平成26年度評価に関する資料、資料9は同じく「千葉市都市公園施設」の総合評価に関するもの、資料10は「花島コミュニティセンター」の平成26年度評価に関する資料、資料11は同じく「花島コミュニティセンター」の総合評価に関するものでございます。資料の内訳は、1番最初にご説明いたしました、「こてはし温水プール」と同一でございます。なお、「都市公園施設」及び「花島コミュニティセンター」は指定管理者が同一であるため、「事業計画書」、「事業報告書」及び「計算書類等」は重複しますので、年度評価に関します資料の枝番号2から4につきました資料は、資料6の「スポーツ施設」にのみ添付いたしております。評価につきましては、同一の指定管理者でございますけれども、「スポーツ施設」、「都市公園施設」、「花島コミュニティセンター」とも施設の特性、管理運営業務が異なることから、3つに分けて評価をお願いいたします。続きまして、参考資料でございます。参考資料1は「千葉市こてはし温水プール」の平成23年度から25年度までの指定管理者評価シート、参考資料2は「千葉市スポーツ施設」の平成23年度から25年度までの指定管理者評価シート、参考資料3は「千葉市都市公園施設」の平成23年度から25年度までの指定管理者評価シート、参考資料4は「千葉市花見川区花島コミュニティセンター」の平成23年度から25年度までの指定管理者評価シートでございます。参考資料5は「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」、参考資料6は「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録等の作成について」、参考資料7は「部会の設置について」でございます。以上の資料をお配りしてございます。不足等がございましたら、お申しつけください。

よろしいでしょうか。それでは、会議の成立につきまして、ご報告させていただきます。

本日は、全委員5名のうち4名の委員さんにご出席いただいております。半数以上のご出席がございますので、「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」第11条第7項において準用します第10条第2項に基づき、会議は成立をいたしております。

それでは、これより議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、横山部会長さんをお願いしたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

○横山部会長 今日、私は体調不良なもので、臨時に副部会長に交代してもらいました。

○佐久間市民総務課長補佐 それでは、今後の進行につきましては、副部会長の織戸委員さんよろしく願いいたします。

○織戸委員 よろしく願いします。

それでは、横山部会長に代わりまして、議事進行を務めさせていただきます。ご協力のほど、よろしく願いいたします。

議題1「平成26年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について」に入らせていただきます。

それでは、まず、「千葉市こてはし温水プール」の年度評価について、ご審議いただきます。施設の所管課より説明をお願いいたします。

○安藤スポーツ振興課長 では、スポーツ振興課の安藤でございます。それでは、座って説明をさせていただきます。

では、お手元の資料4-1をお開きください。資料4-1でございます。

まず、「1 基本情報」でございますが、施設名は「千葉市こてはし温水プール」、指定管理者はシミズ・砂防コンソーシアムでありまして、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間です。

次に、「2 管理運営の実績」でございますけれども、「(1) 主な実施事業」は指定管理事業及び自主事業となっております。「(2) 利用状況」につきましては、平成26年度利用者数は30万8,284人で、前年度比は100.5%となっております。「(3) 収支状況」でございますが、「①収入実績」につきましては、指定管理委託料は1億6,325万5千円で、計画どおりです。利用料金は6,324万2千円で、計画額の85.6%、昨年度よりも62万3千円増となっておりますが、計画額には届いておりません。自主事業につきましては、1,046万1千円で、計画額の97.1%となっております。収入の合計は2億3,695万8千円で、計画額の95.6%でございます。「②支出実績」でございますが、人件費は2,176万5千円で、計画額の87.1%、これは従業員を1名削減したことによるものでございます。事務費につきましては、5,790万6千円で、計画額の97.1%でございます。これは、地下水の利用による水道料金の削減によるものでございます。管理費は1億5,312万3千円で、計画額の100.4%でございます。これは業務委託費及び修繕費の影響による57万2千円の増ということでございます。自主事業は957万4千円でございます、計画額の91.5%でございます。支出の合計は2億4,236万8千円で、計画額の97.9%でございます。「③収支実績」でございますが、541万円の赤字となっております。次のページをご覧ください。「(4) 指定管理者が行った処分の件数」や「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」につきましては、ご覧のとおりでございます。

次に、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」でございますが、「(1) 指定管理者が行っ

たアンケート調査の結果」となっております。「①アンケート調査の実施内容」ですが、9月から10月にかけて行い、アンケートの回答者は154人で行いました。質問項目につきましては、利用者の特性等の9項目となっております、「②調査結果」でありますけれども、「ア 利用者の特性」につきましては、89.0%がプールの利用者となっております。イからケまでの各項目におきまして、「満足」「やや満足」と示した場合につきましては、まず「イ スタッフの対応」については92.1%、「ウ 利用案内の分かりやすさ」につきましては92.0%、「エ 設備・器具の充実」につきましては94.6%、「オ 電話対応」につきましては98.4%、「カ 売店の商品の充実」につきましては74.8%、「キ 施設の清潔さ」につきましては89.3%、「ク 教室の充実」につきましては93.8%、「ケ サービス全般」につきましては94.0%ということで行いました、全体的に高い評価を得ております。「③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」につきましては、「トイレを洋式にしてほしい」という意見が行いまして、それに対して、和式トイレの一部を洋式トイレに直したという対応を行っております。また、「水泳帽子の着用を義務付けてほしい」という意見に対しましては、以前より取り組んでいるところでございますが、館内放送や声かけにて、帽子の着用をお願いを行っております。次に、「(2)市に寄せられた意見、苦情」で行いまして、3件の意見が行いまして、そのうち、プールサイドの椅子に関する意見につきましては、荷物を置かないよう案内表示を行うという対応を行っております。次のページで行いまして。

「4 指定管理者による自己評価」で行いまして、いずれの項目も概ね管理運営の基準、事業計画書のとおりとなっております。

次に、「5 市による評価」で行いまして、評価はAといたしております。理由といたしましては、収支については赤字となっておりますが、利用者増に向けたPRの取り組みなどによりまして、利用者数はわずかではあります、増加していること、アンケート調査の結果におきまして、利用者満足度が94.0%となっております、良好な運営が行われていること、また、利用者の要望に応じて、洋式トイレを設置する等の環境の改善にも努めていることなどを挙げております。総合的な評価といたしましては、概ね管理運営の基準、事業計画書どおりの実績・成果があったと評価いたします。

次に、「履行状況の確認」で行いまして、仕様、提案どおりの実績・成果が認められたことから、ほとんどの項目を2点と評価しております。ただし、次のページの下段、「(4)管理経費の削減」のうち、「支出見積の妥当性」の小項目「管理経費の縮減取組み」につきましては、地下水を利用した水道料金の削減に努めていることを評価し、3点としております。したがって、合計点数は49点、平均が2.0点で行いまして。平成26年度指定管理者評価シートの説明は、以上で行いまして。

○織戸委員 ありがとうございます。ただいま所管課から説明がありましたが、年度評価では、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握することとなっております。これから計算書類等をもとに、指定管理者の財務状況等に関する意見交換を行うこととなりますが、一部の資料は一般には公開されていない法人等情報を含んでおり、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例第25条ただし書きの規定により、ここからの会議は非公開といたします。なお、その後に行います指定管理者の施設管理運営のサービス水準の向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点等に関する意見

交換については、再び公開とします。傍聴人の方は、恐れ入りますが、一度、退出をお願いいたします。

(傍聴者 退室)

○織戸委員　それでは、私より指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等をもとにご説明させていただきます。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7号第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○織戸委員　財務状況については、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提としますが、共同事業体各社の財務状況は良好であり、倒産・撤退等のリスクはないかと判断されます。これを本部会の意見とすることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員　ありがとうございます。

それでは、次に行う指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、または改善を要する点等に関する意見交換については、公開といたします。傍聴人の方を案内してください。

(傍聴者 入室)

○織戸委員　それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、または改善を要する点等について、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。何かご意見はございますか。

私からよろしいでしょうか。資料4-1の「こてはし温水プール」、2ページ目、真ん中よりちょっと下、調査の結果で、「カ 売店の商品の充実」、これは不満が多いような結果になっておりますが、これについては、今後どうなる、改善の見込みというのはあるのでしょうか。

○安藤スポーツ振興課長　売店につきましては、実は、約2坪のスペースで展開してしまして、設置できる商品が限られているという状況がございます。具体的には、デザイン柄の種類の多い水着ですとか、サイズを多く用意する必要がある子どもの水着ですとか、そういったものがない。あとは、お弁当ですとか食品類、こういった品揃えの問題がございまして。やはり、最近の、いわゆるコンビニが普及している世の中におきましては、昔の売店というような見られ方がされているようでございます。そういったことから、満足度がやや低いという結果でございまして、なかなか現状の施設では、利用者にご満足いただけるような品揃えを確保することは難しいかなというふうに思っております。

○織戸委員　わかりました。

○小川委員　それは、スペース的にもうそれ以上は無理ということですか。物理的にも。

○安藤スポーツ振興課長　無理でございます。

○横山部会長　それに関連して、外で自主事業でしたか、野菜とかを売っていますよね。ああいう形で、店舗で売店を設けることは可能ですよね。

○安藤スポーツ振興課長　この店舗につきましては、施設の中で展開しておりまして、

自動販売機コーナーと売店という、そこがセットになっているわけなんです。そこでもいろいろ、朝市みたいな野菜市みたいなイベント的なことをやることは、ちょっとスペース的に難しいのかなと思っております。できないことはないと思うんですが、どんなことをやるのかというのは工夫次第というふうに思いますが。売店の充実というところに直接つながるかという、イベント的なものになってこようかと思しますので、ちょっと趣旨が違うのかなという部分もございます。

○小川委員 売店のことでですけど、これは指定管理者が自主的に行う。

○スポーツ振興課 そうですね。自主事業で行っているものです。

○横山部会長 質問なんですけど、4-1の「2 管理運営の実績(3) 収支状況」の②の中の管理費の増加がこの収支が悪かった原因ということでしたけれども、その管理の修繕費が増えたことによって、この修繕費については、4-3のページ数はないんで、4-4から数えて、後ろから2枚目ですね。「収支決算書(こてはし温水プール)」。今、ここに示されていることというのは、具体的にどの項目を、修繕費と書いてありますけれども、どういう修繕が必要だったのか。毎年、この施設は修繕費がいろいろかかっていると思うんですけれども。そもそも大規模な修繕が必要なものなのか。大規模な修繕に関しては、市のほうで行うんでしょうけど、その計画があるのかどうかということを知りたいですね。事前に質問を出していなかったのですけれども。

○織戸委員 いかがでしょうか。

○スポーツ振興課 修繕の内容なんですけど、先ほど言いましたトイレの改修、あとはプール部分がガラスのドームになっていまして、そのガラスの交換、あとは電熱プレートの交換、こちらはちょっと専門的で、内容はあれですが。あとは、井戸水の対応分の修繕ということで、駐車場の舗装部分の補修ですとか、あとは、プールの、プールといってもスライダー、こちらの支柱がちょっと傷んでおりましたので、交換をしております。主なものについては、そういったところになります。修繕の計画なんですけど、市のほうで、全施設的に全体的に保全計画というものを立てまして、それに沿って、今後、修繕をしていく形になるかなと思います。

○織戸委員 つまり、大修繕が今後行われるということですか。

○スポーツ振興課 そうですね。大規模な修繕については、保全の計画を立てて、計画的に修繕をしていく形になるかと思えます。

○織戸委員 よろしいでしょうか。他にはありますでしょうか。

(なし)

○織戸委員 委員の皆様からさまざまな意見をいただきました。施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等の主な意見といたしましては、概ね良好な施設運営が行われていると考えられるが、1つ、まずは「アンケート結果を踏まえて、売店の運営の工夫に努められたい。」2つ目、「引き続き、計画的な修繕に努められたい。」などがございました。これらを踏まえて、本部会の意見とすることによってよろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員 それでは、先ほどの財務状況も含めて、千葉市こてはし温水プールの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになります。詳細については、私と事務局にて調整するというので、ご承

認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員 ありがとうございます。では、次に、総合評価について、ご審議いただきます。所管課からご説明をお願いいたします。

○安藤スポーツ振興課長 それでは、お手元の資料の5-1をご覧くださいと思います。5-1「指定管理者総合評価資料」でございます。

「1 基本情報」、「2 管理運営状況」の「(1) 業務の概要」につきましては、ご覧のとおりでございます。次に、「(2) 利用状況」の「①利用者数」でございますが、指定期間当初からの推移について、表にまとめさせていただいています。これを見ますと、平成23年度が31万6,577人に対しまして、24年度が3,019人の増でございます、31万9,596人。25年度におきましては、そこから1万2,948人の大幅ダウンの30万6,648人。平成26年度につきましては、約1,600人ほど回復いたしまして、30万8,284人。こういった実績になっております。「②稼働率」につきましては、プールやスポーツ室・トレーニング室、こちらにつきましては、個人利用施設のため、稼働率が算出できません。したがって、研修室、多目的ホールのみ記載でございます。ご覧いただいておりますとおり、稼働率は低迷しているという状況でございます。

続きまして、「3 利用者意見への対応状況」につきましては、いただきましたご意見に対しまして、適切に対応をしているという状況でございます。

次のページをお開きください。「4 収支状況」について、ご説明をさせていただきます。

「(1) 過年度の収入・支出状況」でございますが、平成23年度は2,445万7千円の赤字、これは表の一番下、収支のところでございます。24年度が881万3千円の赤字、25年度は1,833万4千円の赤字。平成26年度が541万円の赤字となっております。この4年間でトータルいたしますと、収支状況はマイナスの5,701万4千円ということでございます。人件費や事務費などの削減に努めておりますけれども、利用料金収入が当初計画を下回って推移していることなどによりまして、赤字が継続しております。次に、「(2) 管理経費の縮減に係る取組み」でございますが、近隣団地等にチラシのポスティングを行う等、利用者の増加に向けてPR活動を行っております。また、地下水の利用や人員の削減などの経費節減によりまして、支出の削減に努めている状況でございます。

次に、資料5-2「指定管理者総合評価シート」をご覧ください。「1 基本情報」については、ご覧のとおりでございます。

「2 総合評価」の「(1) 過年度の管理運営業務に対する評価」について、ご説明いたします。まず、「1 市民の平等な利用の確保 施設の適正な管理」でございますが、Aと評価いたします。理由は、関係法令の遵守や市内産業の活性化、公正な利用受付について、管理運営の基準、事業計画どおりの内容を履行しており、利用者アンケートにおきましても、施設満足度が約8割となっております。良好な運営が行われていると認められることとございます。次に、「2 市民サービスの向上」についてですが、こちらのほうもAと評価しております。理由といたしましては、スポーツ用品の貸し出し等、利用者の利便性向上のための施策を継続的に行っていること、利用者からの相談や苦情に対し、適切に対応していること、急病者等発生時の対応についても適切であると認められること、また、市の施策における利用料金減免に対応していただいていることが挙げられます。次に、

「3 施設の効用の発揮 施設管理能力」についてでございますが、Aと評価しております。理由といたしましては、「(1) 利用促進方策」につきましては、近隣にチラシのポスティングを行う等のPRを積極的に行っていること、「(2) 管理体制」については、概ね管理運営の基準及び事業計画書どおり履行していること、「(3) 施設・備品の維持管理」につきましては、利用者の要望に応じて、利用環境の改善に努めていること、「(4) 自主事業の効果的な実施」については、多目的ホール等での教室やイベントを企画して、利用促進を図っていることを挙げております。次に、「4 管理経費の縮減」についてでございますが、こちらのほうもAと評価しております。理由といたしましては、地下水の利用により水道料金の削減を図っていること、利用料金収入が計画に届きませんが、積極的な広報活動を行って、利用料金収入増に向けた取り組みを行っていることが挙げられます。

最後に、総合評価といたしましては、「概ね事業計画どおりの実績・成果が認められた」と判断いたしまして、Aとしております。説明は以上でございます。

○織戸委員 　ただいま所管課から一通り説明をいただき、こてはし温水プールの総合評価につきまして評価案が示されましたが、まず初めに、この市当局の作成した評価の妥当性について、委員の皆様方から意見をお聞きしたいと思います。ご質問も含めて、何かございましたら、お願いします。

○内山委員 　まず、織戸委員から、資産に関しては問題ありませんというようなお話を伺いましたが、経営のやり方がどうなのかということで、毎年、赤字ということは、どういう赤字になっていますか、これ。この4年間で約6千万円弱の赤字になっていますけど、それは毎年、何か修理とかなんかで、そういうふうに出ているんでしょうか。

○織戸委員 　コンソーシアムをつくる3社それぞれの経営はオーケーだけれども、こてはし温水プールについては、赤字で大丈夫なのかということですよ。

○内山委員 　はい。

○織戸委員 　私も非常に思いますので、いかがでしょうか。

○安藤スポーツ振興課長 　4年トータルで6千万円近い赤字ということでございまして、この状態、かなり苦しい経営を強いられているというのは確かでございます。これは、やはり利用料金収入が当初の見込みになかなか達してこないということと、やはり施設がプール、水回りに関しましては、かなり修繕が多くなってきているということです。こちらは平成11年にオープンいたしましたが、約15年を経過いたしまして、さまざまな機器が老朽化により、破損する事態になっております。かなりの修繕により管理費を増大させるという事態になってございまして、その辺が当初の部分と違ってきているということで、赤字になってしまっているということでございます。利用料金収入をまず上げていただきたいということと、管理経費につきましても、なるべく圧縮していただければ、市でできる部分については市でもやっておりますが、指定管理者の努力で、なるべくお金をかけないような修繕の方法等を工夫していただき、できるだけ収支がとんとんになるような経営になっていただきたい、というのが我々のお願いでございます。

○織戸委員 　内山委員、いかがでしょうか。

○内山委員 　今のお話、希望的な意見に聞こえますけど、これから今年度もまだわからないと、27年度もわからないと思うんですけど、27年度もまた赤字ということもあり得るんじゃないかなと。それをずっと赤字でやっていけるのか、その辺を今後どうするの

かと。ちょっとお伺いしたいと思います。

○安藤スポーツ振興課長　今、平成27年度から始まっておりまして、本年度をもちまして、一旦、この指定期間が終了になります。本年度中に、次期の5年間の指定管理者の再選定というようなことで募集をする形になります。その際に、この同じ企業が手を挙げてくるかどうかというところがございます。また、選定に際しましては、これだけ赤字が出ていて、管理経費もかさむということもありますので、我々としてもしっかりと積算のもとに、選定をしていきたいというふうに思っております。

○織戸委員　他には。小川委員さん、いかがでしょうか。

○小川委員　私もこの赤字問題を聞こうと思うんですが。私も見せてもらったんですけど、地下水のくみ上げで大分、水道料金が安価になったという。あのポンプの施設というのは、当然、指定管理者が自分たちでつくったということで、市のものではない。

○安藤スポーツ振興課長　指定管理者が自らのアイデアで付けたということでございます。

○横山部会長　この業者さんですが、こういう地下水の利用であるとか、あと、書いてありませんけれども、例えば駐車場の利用について、周辺施設の協力を求めるなど、いろいろ工夫はされているんですけども、なかなかそれが数字に表れてこないんです。そういう見えない努力の部分について、評価してあげてもいいんじゃないのかなという気がします。駐車場に関して言えば、周りがある、ごみ処理施設でしたっけ、その場所を夏季の繁忙期の時期にお借りするとか、あるいは、臨時駐車場なんかを設置するなどして、車でも来やすい施設を目指してやっているんですけども。合計の集客には結びついていなかったという、そういうふうな結果ですが。そういうところを評価してあげたらいいんじゃないのかなという気がします。この評価の妥当性についてなんですけれども、概ね良いという気がするんですけども、従業員について、もうちょっと改善の余地がありそうな気がしますので、その辺は、もうちょっと頑張ってもらいたいという気はします。いずれにしても、評価については、妥当かなとは思いますが。

○織戸委員　他はございませんでしょうか。

(なし)

○織戸委員　では、1つだけ質問ですが、人員の削減をしたということですが、これはサービス低下にはつながらない削減なんですか。

○スポーツ振興課　業務の引き継ぎ等で、昨年、1人増員していたところがありまして、その増員分を通常に戻した。

○織戸委員　戻したということですか。

○安藤スポーツ振興課長　はい。というふうになっておりますので、サービスの低下にはつながらないと思っております。

○織戸委員　はい、わかりました。委員の皆様からご意見をいただきましたが、いただいた意見を総合しますと、評価は妥当であるとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員　ありがとうございます。

それでは、次に、施設のサービス水準向上あるいは業務の効率化などの観点から、次期指定管理者の選定に向けての意見をいただきたいと思います。委員の皆様から忌憚のない

ご意見をお聞きしたいと思いますが、何かございましたらお願いします。

○横山部会長 先ほどから、繰り返し出ていますけれども、収支に関して、赤字体質でありましたので、現実的な収支の目標設定をお願いしたいと思います。

○織戸委員 それにつきましては、お2人も同様のご意見ですね。

(異議なし)

○織戸委員 来年、公募で別の業者さんが手を挙げるかもしれない。

○安藤スポーツ振興課長 本年度、平成28年度以降の指定管理者について、公募をいたします。そこに複数社から手が挙がるかどうかということで、それはまだ分かりませんが、興味を示してやってみたいという意欲のある複数社による競争が起こればいいなというふうに思っております。

○横山部会長 仮に、他業者が選定された場合、井戸水のポンプなんかについては撤収されるんですかね。

○スポーツ振興課 一応、設置に当たっては、市との覚書等、ポンプの業者と結んでおりますので、継続して使うような形になります。消耗品等は指定管理者のものになるんですけど、使用料とか、それ以外は市と契約を結んでおりますので、そのまま継続という形になります。

○小川委員 ちなみに、ポンプって、あれはどのくらい費用がかかっているんですか。

○スポーツ振興課 設置ですか。

○小川委員 設置に。

○スポーツ振興課 市のほうでは、設置をしていいですよと許可を出したというところでして、設置費等については、ちょっと詳細には分かりません。

○小川委員 それは、設置した年度の収支のあれに出てこないんですか。設備費とか。

○安藤スポーツ振興課長 これは、指定管理者の費用でポンプをつけたわけではなくて、また別の業者、井戸水を商売とする業者がありまして、そちらがポンプを設置し、この指定管理者は、そこから井戸水を買うという仕組みです。その井戸水を買うほうが水道料金よりも圧倒的に安いものですから、その差額が生まれるという、管理経費の節減につながる。井戸水の業者はその井戸水を売った料金で、何とか設置をした施設整備費を回収する、こんな事業でございます。

○小川委員 じゃあ、設置許可は井戸水の業者さんへ市が与えたのですか。

○安藤スポーツ振興課長 そうです。

○小川委員 だから、指定管理者が変わっても。

○安藤スポーツ振興課長 変わっても、その井戸の業者はそのまま。これは指定管理者の方の発案で、こういうことをやった方がいい、という意見をいただいたものでございます。

○織戸委員 我々も施設の視察に伺いまして、確かにそういう装置がありました。かなり大きなものですね。

他に何か意見等ある方はいませんか。

(なし)

○織戸委員 それでは、他にないようでしたら、次期指定管理者の選定に向けての意見といたしましては、まず、「現指定管理期間は経営状況が良くないため、利用料金収入増、

それから管理経費の削減、節減のための各種方策を検討されたい。」。2つ目、「比較的修繕費がかかる施設であるため、現実的な収支計画を図られたい。」という2点かと思えます。このような意見で、これらを本部会の意見とすることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員 ありがとうございます。それでは、これらを踏まえて、千葉市こてはし温水プールの指定管理者の行った施設の管理に係る総合評価についての本部会としての意見をまとめていくということになります。詳細については、私と事務局にて調整することによって、ご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員 ありがとうございます。施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を次期指定管理者の選定の際に、十分反映していただきたいと思えます。

それでは、次に、千葉市スポーツ施設の、まず、年度評価について、施設所管課から説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 それでは、資料6-1をご覧くださいと思います。

まず「1 基本情報」でございますが、「千葉市高洲市民プール 他7施設」となっております。こちらのほうは、市民局のスポーツ振興課が所管するスポーツ施設、8施設ございます。具体的には、高洲市民プール、武道館、宮野木スポーツセンター、北谷津温水プール、中田スポーツセンター、みつわ台体育館、古市場体育館、相撲場、この8施設につきましても市民局のほうで所管しているということで、ここでは高洲市民プール他7施設と、こう呼ばせていただいております。

その施設の指定管理者は、テルウェル東日本・スポーツクラブNASグループでございます。指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間です。

次に、「2 管理運営の実績」ですが、「(1) 主な実施事業」については、「①指定管理事業」、「②自主事業」というふうになっております。「(2) 利用状況」でございますが、利用者数、平成26年度、42万7,397人、前年度比105.0%でございます。稼働率につきましては、69.6%で、前年度比2.4%の増というふうになっております。

「(3) 収支状況」でございますが、「①収入実績」につきましては、指定管理委託料は2億3,224万5千円で、計画額の99.7%。利用料金は6,599万7千円でございまして、計画額の98.0%。自主事業につきましては、2,376万7千円で、計画額の126.5%でございます。これは開設しているスポーツ教室の参加人数が増えましたことや物販が好調だったという理由でございます。その他につきましては、352万4千円でございまして、計画額の126.9%でございます。これにつきましては、計画を上回る自主事業の利益が上がったことから、利益還元額として74万8千円を計上しているためでございます。収入の合計につきましては、3億2,553万3千円でございまして、計画額の101.1%となっております。「②支出実績」でございますが、人件費は1億9,418万2千円で、計画どおりでございます。事務費は4,806万1千円で、計画額の81.9%、これは主に広告宣伝費を見直したことによりまして減少でございます。管理費は4,431万8千円でございまして、計画額の89.0%、これは主に修繕費の削減によるものでございます。自主事業につきましては、2,069万8千円で、計画額の125.7%でございます。これは自主事業の利益が計画額を上回ったことから、追加の利益

還元額を計上しているためでございます。その他につきましては、133万5千円で、計画額の292.8%、これは北谷津温水プールの重油の購入費として市が補填していた金額がございましたが、未使用の額87万9千円、これを市に還元するために支出したものでございます。これは指定管理者の経営努力の結果の削減ではないということから返還するものでございます。支出の合計は3億859万4千円で、計画額の96.6%となっております。「③収支実績」でございますが、1,693万9千円の黒字でございます。次のページをご覧ください。「(4) 指定管理者が行った処分の件数」や「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」につきましては、ご覧のとおりでございます。

次のページでございます。「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてでございますが、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」となっております。「①アンケート調査の実施内容」でございますが、1回目が6月から7月の1か月間、2回目が11月から12月にかけての1か月間、計2回行っております。1回目のアンケートの回答者は688人、2回目が644人でございます。質問項目につきましては、利用頻度、利用時間、スタッフの対応、施設満足度等となっております。「②調査の結果」ですが、1回目のアンケートでの主な項目について、ご説明をいたします。「ウ 利用頻度」につきましては、「週1～2回」が回答の682人中348人となっております、利用者の約半数が常連利用となっております。「カ スタッフの対応」では、「とても良い」と「まあ良い」で96.0%となっております、高い評価を得ております。「キ 施設満足度」では、「とても良い」「まあ良い」が91.0%と、高い評価を得ているという状況でございます。2回目のアンケートの主な項目ですが、「ウ 利用頻度」につきましては、やはり回答数の640人中381人が、「週1～2回」ということで、常連利用ということでございます。「カ スタッフの対応」につきましても、「とても良い」、「まあ良い」で96.0%。「キ 施設満足度」でも、「とても良い」、「まあ良い」で91.0%と、高い評価を得ているところでございます。「③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」についてでございます。「体育館の照明が暗く感じる」、こちらは、みつわ台体育館でございますが、電球交換を実施いたしまして、十分な照明を確保しております。また、「トイレを洋式にしたい」と、これは古市場体育館でございます。こういう要望に対しましては、現在、市と指定管理者の間で対応を協議中という状況にございます。次に「(2) 市に寄せられた意見、苦情」でございますが、3件の意見がございました。主な内容といたしましては、1件は、「練習内容を制限しても構わないので、市営球場の硬式野球での練習使用を許可してもらいたい」という意見でございました。現在、硬式球の使用を禁止している球場は十分な設備がないため、やはり安全面から禁止していることをお伝えしてございます。別の1件では、「常連はプール使用時に毎回減免カードを提示しなくても良いのではないか」という意見もございましたが、施設職員の入れ替わりもございますので、常連の方であっても毎回提示をお願いするものでございます。

次のページをご覧ください。「4 指定管理者による自己評価」ですが、いずれの項目も、概ね計画書のとおりとしております。

次に、「5 市による評価」ですが、評価はAといたしております。理由といたしましては、平成25年度に比べまして、利用者、利用料金収入ともに増加していること、利用環境改善のための修繕を積極的に実施していること、利用者アンケートの結果、利用者満

足度は90%を超えており、良好な運営が行われていることと評価いたします。総合的な評価といたしましては、概ね管理運営基準、事業計画書どおりの実績・成果があったと評価いたしております。

次に、「履行状況の確認」でございます。こちらにつきましては、仕様、提案どおりの実績・成果が認められたことから、ほとんどの項目を2点と評価してございます。そのうち、3点と評価したものが1か所ございますので、こちらは次のページですね、1番下の「自主事業収入は計画通りか」というところ、ここを3としております。これはスポーツ教室、物販、スポーツ用品の貸出において実績が計画比126.5%と上回ったことを評価したものでございます。したがって、合計点数が49点、平均が2.0点でございます。平成26年度指定管理者評価シートの説明は、以上でございます。

○織戸委員 ありがとうございます。それでは、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況等に関して、意見交換を行いたいと思います。先ほどと同様に、ここからの会議は非公開といたします。傍聴人の方は、恐れ入りますが、一度退出をお願いします。

(傍聴者 退室)

○織戸委員 それでは、指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等をもとに私からご説明させていただきたいと思います。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7号第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○織戸委員 委員の皆様からの意見としましては、財務状況についての意見としましては、今期については、提出された資料に基づいた判断であることを前提としますが、共同事業体各社について、引き続き注視すべき事項はあるものの、事業継続が直ちに困難になるとは考えにくく、倒産・撤退等のリスクはないと判断します。ということで、補充意見をつけて次回の選定の際に生かしていただくということで、本部会の意見とすることによるでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員 ありがとうございます。

それでは、次に行う指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換については公開とします。傍聴人の方を中にご案内してください。

(傍聴者 入室)

○織戸委員 それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。何かご意見はございますか。どうぞお願いします。

○横山部会長 この事業体に関しては、自主事業について、利益還元が図られている点については、特に評価すべきではないかなと思います。もともと余り個性のない施設のような感じがしていますけれども、そのようにしている点は、やはり業者の能力を示すものではないかなと思います。素直にそこは評価すべきかなと、そういう意見です。

○織戸委員 内山委員さん、いかがでしょうか。

○内山委員 このアンケート結果等見ていますと、「予約方法」以外の「とても良い」「良い」は、合わせると100%に近いんですけど。「予約方法」は、「とても良い」はあまりなく、「とても良い」と「良い」を合わせても34%ぐらいしかない。これは、どういうふうに説明しているのかなと思います。

○織戸委員 これはちょっと私も聞きたかったんです。このアンケート3ページです。「わからない」というのは、どちらでもないという意味なんですか。予約方法なんですけど、予約方法がよくわかりませんでしたという答えなんですか。

○スポーツ振興課 どちらでもないという意味に近いです。この中に選択肢がないという内容。

○織戸委員 そういう意味なんですね。

○スポーツ振興課 はい。

○織戸委員 じゃ、よろしいでしょうか。

○内山委員 はい。

○織戸委員 小川委員さん、いかがでしょうか。

○小川委員 先ほどの決算の問題につきまして、これにつきましては、やっぱりこのNASというのは、スポーツの専門の老舗といいますか、自主事業も125%ですか、かなり多くなっているということで、これは評価していいというふうに思います。だから、そういう点では、評価のAというのは、正当なものだと思います。

ひとつ、必ず「関係法令等の遵守」と出てくる、市民の個人情報を守るのは第一だが、ほかに例えば、都市公園法とか、建築基準法あるいは消防法とか、あとプールであれば、有料のプールの水質検査いろいろあると思うんですよ。これは所管課のほうでその基準をいちいちクリアしてるかとか、そういうことをすることは不可能なんですけども、こういうところはもう指定管理者が遵守しているということで、この関係法令等の遵守はチェック事項の中には入らないという解釈でいいですか。例えば、保健所が何か定期的に検査しているんですかね。

○スポーツ振興課 そうですね。チェック項目に入っています。

○小川委員 入っている。これを見ると、よく個人情報と情報公開がセットでよく使われているようにしか見えないんですけど。関係法令というのは、やはり。

○安藤スポーツ振興課長 もちろん消防法の電気点検の方は義務づけておりますので、そういうものをちゃんとやっているかとかですね。後は、都市公園法における基準、以前、ここは除草剤か何かを使って、条例に違反したものを使っていたものが発覚したというものもありますので、そういう関係法令・条例に関しては、我々もチェックをしているところです。モニタリングについてやっています。

○丸島生活文化スポーツ部長 モニタリングのチェック項目の中に入っています。その中に、例えば、今言った消防法の関係書類がちゃんとそろっているかをどうかというのは、我々がチェックしています。

○小川委員 わかりました。

○織戸委員 ついでにお聞きします。そのモニタリングの中には、適正な税務申告を行っているかは入っているんですか。

○安藤スポーツ振興課長　それは入っていません。

○丸島生活文化スポーツ部長　ですから各会社さんの、何といたしますか、会計士さんとか、そういった方にお任せというような形にはなっています。

○織戸委員　他には、ありますでしょうか。

それでは、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等の主な意見としましては、「概ね良好な施設運営が行われていると考えられるが、自主事業については、計画額より実績が増加しており、評価できる。」という点がございました。

これを本部会の意見とすることよろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員　ありがとうございます。

それでは、先ほどの財務状況も含めて「千葉市スポーツ施設」の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細については、私と事務局にて調整するということでご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員　ありがとうございます。

では、次に、総合評価についてご審議いただきます。所管課から説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長　それでは、お手元の資料7-1「指定管理者評価シート」のほうをご覧くださいと思います。

「1 基本情報」と「2 管理運営状況」の「(1) 業務の概要」、これにつきましては、ご覧のとおりでございます。次に、「(2) 利用状況」でございます。「①利用者数」ですが、指定期間当初からの推移についての表がございます。この表にありますとおり、下から3段目の「利用者数合計」というところがございますが、平成23年度、こちらは35万785人で平成22年度からは減少しております。これは、東日本大震災における高洲市民プールの休業等の影響によりまして、利用者が大幅に減少したものでございますが、平成24年度以降は毎年利用者数が増加しているという状況にあります。また、「②稼働率」につきましても、利用者数と同様に上昇をしているところでございます。

次に、「3 利用者意見への対応状況」でございますが、いただきましたご意見、苦情に対しまして適切な対応を図っております。次のページでございます。

「4 収支状況」についてご説明をいたします。「(1) 過年度の収入・支出状況」でございますが、1番下の欄でございます。収支「(I) - (g)」でございます。平成23年度は、1,027万3千円のプラス、平成24年度が1,670万7千円のプラス、平成25年度が1,252万7千円のプラス、平成26年度も1,693万9千円のプラス、4年間をトータルいたしますと、5,644万6千円のプラスでございます。次に、「(2) 管理経費の縮減に係る取組み」についてですが、管理機能を本部に集約することで、効率的な人員配置を行いまして、人件費の抑制を図っております。また、共通する消耗品ですとか、備品などを一括して発注することで経費の節減に努めております。さらに、新電力(PPS)と契約ということで、光熱費の削減に努めているところでございます。

続きまして、資料7-2のほうをご覧ください。「指定管理者総合評価シート」でございます。

「1 基本情報」は、ご覧のとおりでございます。

「2 総合評価」でございます。「(1) 過年度の管理運営業務に対する評価」についてご説明をいたします。まず、「1 市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理」でございますが、こちらのほうは、Aと評価しております。これは関係法令の遵守や市内産業の活性化、適正な利用受付等につきまして、管理運営の基準、事業計画どおりの内容を履行していること、また利用者アンケートの結果、施設満足度がいずれの年度でも8割から9割に達しておりまして、良好な運営が行われていると認められるためでございます。次に、「2 市民サービスの向上」についてですが、こちらもAと評価しております。「(1) 施設・設備の貸出方法」ですが、スポーツ用品の貸出等、利用者の利便性向上のための施策を継続的に行っております。「(2) 利用者への支援」につきましても、利用者からの相談や苦情内容を指定管理者が管理するほかの施設でも共有し、対応しているところでございます。また、急病・傷病者等の発生時の対応につきましても、適切に行われております。「(3) 利用料金」につきましては、利用料金の減免についても適切な対応が図られております。次に、「3 施設の効用の発揮、施設管理能力」についてですが、こちらもAと評価しております。理由といたしましては、「(1) 利用促進の方策」におきましては、夏期水泳プールに共通ポイントカードを導入するなど、利用率向上の対策が認められるということ、「(2) 管理体制」、「(3) 施設・備品の維持管理」につきましては、利用者の要望等を取り入れまして、利用環境改善のための必要な修繕を積極的に実施していること、「(4) 自主事業の効果的な実施」につきましては、利用者の要望に対応した教室を開催いたしまして、利用促進を図っていることなどからAと評価いたしました。次に、「4 管理経費の縮減」でございますが、こちらもAと評価しております。理由としては、毎年利用者数が増加しておりまして、利用料金の増収が図られていること、修繕費を計画額よりも削減していることが挙げられます。

最後に、総合評価といたしましては、概ね事業計画どおりの実績・成果が認められたと判断いたしまして、Aとしております。

説明は以上でございます。

○織戸委員 ただいま所管からひと通りの説明をいただき、スポーツ施設の総合評価につきまして評価案が示されましたが、まず、この市当局の作成した評価の妥当性について、委員の皆様から意見をお聞きしたいと思います。

ご質問も含め、何かございましたらお願いします。

○横山部会長 先ほどちょっと言及がありましたけれども、除草剤を使ったってこの業者さんでしたっけ。

○安藤スポーツ振興課長 そうでございます。

○横山部会長 そのときは、外部から指摘されたということですね。

○安藤スポーツ振興課長 はい、年度評価において指摘をされたということがございました。

○横山部会長 意見としては概ね良いのではないかなと思います。管理の能力が高いと思っておるんですけども、業者にちょっと問題があったりして、総合的には市の表示されているとおりの評価かなと思います。

○織戸委員 小川委員、いかがでしょう。

○小川委員　　私はもうAという評価で結構です。

○織戸委員　　内山委員いかがでしょうか。

○内山委員　　結構いいんじゃないですか。

○織戸委員　　私も同意見でございます。

　　ありがとうございました。委員の皆様から意見をいただきましたが、頂戴した意見を総合しますと、A評価が妥当であるとしてよろしいでしょうか。

（異議なし）

○織戸委員　　ありがとうございました。

　　では、次に、施設のサービス水準向上、あるいは業務の効率化などの観点から、次期指定管理者の選定に向けての意見をいただきたいと思います。委員の皆様から、忌憚のないご意見を聞きたいと思いますが、何かございましたらお願いします。

○内山委員　　私はこのままやっただけであれば、これでいいかなと思います。

○織戸委員　　現状でかなりいい水準で管理して、このままでいいですよということですね。

○内山委員　　はい。

○小川委員　　私も同様の意見です。

○横山部会長　　同様なんですけれども、やはり自主事業ですね。施設としてはそんなに何か突出する施設ではないんですけれども、それでも利益還元ができる場所ですから、そこをやっぱり次期指定管理者には考えていただきたいというふうに思います。

○織戸委員　　次期指定管理者の選定に向けての意見としましては、まず「現状と同様な管理運営を図られたい。」。もう一つが、「利益還元できる自主事業の運営を図られたい。」、以上の2点かと思います。これらを本部会の意見とすることで、よろしいでしょうか。

（異議なし）

○織戸委員　　ありがとうございます。

　　それでは、これらを踏まえて千葉市スポーツ施設の指定管理者の行った施設の管理に係る総合評価についての本部会としての意見をまとめるということになりますが、詳細については、私と事務局にて調整するというご承認いただければと思います。

　　よろしいでしょうか。

（異議なし）

○織戸委員　　ありがとうございます。

　　施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を、次期指定管理者の選定の際に十分反映していただきたいと思います。よろしく申し上げます。

　　それでは、ここで5分間の休憩をとりたいと思います。

　　今、15時17分ぐらいです。では、その時計で25分まで休憩ということにします。

（休憩）

○織戸委員　　それでは、再開いたします。

○佐久間市民総務課長補佐　　それでは、休憩の間に事務局職員の入替えを行いましたので、改めて紹介させていただきます。

　　千葉市都市公園施設を所管します、公園管理課長の竹本でございます。

　　千葉市花見川区花島コミュニティセンターを所管します、花見川区地域振興課地域づく

り支援室長の田野でございます。

それでは、よろしくお願いいたします。

○織戸委員　それでは、次に、千葉市都市公園施設の、まず、年度評価について、施設所管課から説明をお願いします。

○竹本公園管理課長　公園管理課でございます。

千葉公園野球場ほか25施設について年度評価シートのご説明をさせていただきます。

まず付箋の3をお開きいただけますでしょうか。資料3になってございます。

○織戸委員　資料8ではないですか。

○竹本公園管理課長　我々の施設の一覧がございまして、そちらの御説明をちょっとさせていただければと思いました。申しわけございません。

私ども公園管理部門は、資料3にございます中段の四角、左枠側の四角、千葉公園野球場から犢橋公園野球場までの9公園の26施設、これについての評価をご審議いただくものであります。それでは、付箋8のほう、よろしくお願いいたします。

資料8でございます。「平成26年度指定管理者評価シート」。まず、基本情報でございますが、施設名、「千葉公園野球場他25施設」。指定管理者、テルウェル東日本・スポーツクラブNASグループ。指定期間につきましては、平成23年4月1日から平成28年3月31日まででございます。

「2 管理運営の実績」「(1) 主な実施事業」。これは「①指定管理事業」と「②自主事業」でございます。詳細については、ご覧のとおりでございます。「(2) 利用状況」の「①利用者数」ですが、平成26年度は、全体で52万8,090人、前年度比100.0%でございます。「②稼働率」ですが、平成26年度、72.3%、対前年度比は5.0%の増加となっております。「(3) 収支状況」の「①収入実績」ですが、まず指定管理委託料としまして、2億9,233万4千円、これは計画比100.0%でございます。次に、利用料金ですが、6,641万6千円。これは計画比90.7%。自主事業につきましては534万3千円、計画比93.3%。その他につきましては、167万6千円、計画比102.4%です。合計で3億6,576万9千円、計画比が98.1%でございます。そのうち、その他につきましては、自動販売機の利益補償金を市から支出してございますので、それと合わせて利益還元額が生まれてございます。利益還元につきましては21万4千円、それから、補償金につきましては146万2千円という内訳でございます。次に、「②支出実績」ですが、まず人件費が1億6,081万3千円、計画比100.0%。事務費が7,213万2千円、計画比94.1%。管理費が1億3,087万8千円、計画比が102.0%。自主事業が513万円、計画比が92.4%。その他が、146万2千円、計画比が100.0%。合計が、3億7,041万5千円、計画比が99.4%です。このうち、管理費につきまして、突発的な修繕が発生したことによりまして、計画より481万6千円増加してございます。これが影響して、これからご報告するような収支の状況になってございます。

「③収支実績」ですが、決算額として464万6千円の赤字となっております。次のページをお願いいたします。「(4) 指定管理者が行った処分の件数」、「(5) 市への不服申し立て」、「(6) 情報公開の状況」につきましてはご覧のとおりでございます。

続きまして、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」です。「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」でございます。アンケートは、全体で3回実施しております。まず、1回目が、6月の調査、全体の調査でございます。それから、7月から8月にかけて、プール利用者に対しての調査を行ってございます。それから、11月から12月にかけての施設全体についての調査を行ってございます。回答者数につきましては、まず施設全体に係るものですが、第1回が391人、それから第2回、この表でいくと3段目になりますが、そちらは394人でございます。質問項目については、性別、年齢等に始まりまして、利用頻度、利用種目等でございます。それから、中段の夏季のプール利用者につきましては、来場者数が392人で、質問項目としては、利用の頻度、利用時間帯、サービス満足度等を質問してございます。右のページをお願いします。「②調査の結果」でございます。まず、施設全体の6月からの結果でございますが、まず、利用頻度でございますが、こちら、先ほどのスポーツ施設と一緒に、週1回～2回の方、これが386人中190人ご利用されていまして、常連さんのご利用という感じでございます。それから、利用時間につきましては、「ちょうど良い」「まあ良い」を含めて93.6%でございます。予約方法につきましては、「とても良い」「まあ良い」合わせて75.9%。それから、スタッフの対応につきましては、「とても良い」「まあ良い」合わせて96.4%。施設満足度につきましては、「とても良い」「まあ良い」で、85.6%でございます。それから、プール利用者についてのアンケートですが、サービス満足度からご説明しますと、「とても良い」「良い」合わせて75.5%。ポイントカード導入につきましては、「とても良い」「良い」を合わせて83.1%。施設設備の満足度は、「とても良い」「良い」合わせて63.0%。これは施設の、やはり老朽化が進んでいるという点がございまして、他の質問項目に比較して、ちょっと評価をいただける部分が少ないのかなと分析しております。それから、スタッフの対応ですが、「とても良い」「良い」を合わせて78.3%です。それから、11月から実施いたしました施設全体のほうのアンケートの結果でございますが、利用頻度は夏場に実施したものと同様に、週1回～2回が393人中176人ございました。利用時間につきましては、「ちょうど良い」「まあ良い」を合わせて92.1%。それから、予約方法が、「とても良い」「まあ良い」を合わせて81.0%。スタッフの対応が、「とても良い」「まあ良い」を合わせて97.7%。施設の満足度は、「とても良い」「まあ良い」を合わせて93.3%です。それで、ここで一つご説明なんです、利用時間についての質問は、一枠の利用時間、2時間というのがどういう評価をしていただけるのかという質問でございます。ちょっと、ご説明を遅れて申しわけございませんでした。次に、「③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」です。まず、「レンタルシューズの小さいサイズを置いてほしい」、これは花島公園スポーツ施設でございました。対応としましては、各施設の状況を確認しまして、小さめのサイズのレンタルシューズを導入しております。それから、千葉公園体育館ですが、「中庭、トイレの入り口にパーテーションを設置してほしい。」というご意見がございまして、これにつきましては、パーテーションの代用としてレースのれんを設置し、目隠しとなるように対応をいたしました。続きまして、「(2) 市に寄せられた意見・苦情」でございます。「②意見・苦情の数」として、全部で6件ございました。

主な意見・苦情とそれへの対応でございますが、「テニスコートの利用について、20時を過ぎても男女の大声が絶えない。」という施設がございまして、これはテニスコートに注意喚起を提示し、利用者への注意を促していくよう説明いたしました。それから、「プール施設職員の対応が悪い。」との苦情がございまして、これにつきましては、指定管理者と協議をし、対応の改善を要求しました。マニュアル再確認等の改善を実施した旨の報告書を受領してございます。

続きまして、一番下段ですが、「4 指定管理者による自己評価」。こちらは、このまま読ませていただきます。「スポーツ・レクリエーションの振興を図り、市民の健康・体力づくり、生きがいに寄与するため、『安心・安全・快適』をモットーに管理運営、利用人数の拡大とサービス向上に努めました。①利用促進の施策では、夏季水泳プール利用ポイントカード、海の日無料開放、冬季庭球場の夕刻利用料半額サービスや、メールマガジンによるリアルタイムな施設空き情報の発信。それから、施設窓口では、ご利用者への積極的なセールスを実施いたしました。②広報・プロモーション活動では、オリジナルポスターや折込チラシを作成、ホームページやメールマガジンでの情報発信、新聞情報欄やスポーツ情報誌への広告掲載など各種広告媒体を利用実施いたしました。また、千葉市に縁のある著名なアスリートによるスポーツ教室「アスリートキャラバン」を年間を通して開催。市民の方に非日常的な体験を提供いたしました。③施設維持管理業務では、施設巡回、日常・定期点検による不都合箇所の早期発見、早期対応に努めました。主な修繕等としては、千葉公園プールろ過装置ろ材交換をはじめ、各屋外プールろ過装置関係の修繕、幸町公園プールトイレ洋式化などを実施したほか、千葉市と共同で稲毛海浜公園球技場のフィールド芝の全面改修も実施しました。④人材育成では、年間の研修計画に基づき、安全、接客、CSR研修や防災、避難訓練を実施。また、ご利用者に対して安全確認、啓蒙活動を推進いたしました。」

次のページをお願いいたします。「5 市による評価」ですが、評価としてはA、概ね事業計画どおりの実績・効果が認められ、管理運営が良好に行われていたと判断してございます。「所見」でございますが、平成26年度は、例年に続き、さまざまなアスリートによるスポーツ教室を開催し、利用者サービスの向上に貢献した結果、前年度に引き続き、利用者が増加した。利用者アンケートでは、多くのお褒めの言葉があり、利用者の満足度が窺える。また、利用者からの要望に対しても真摯に受けとめ、トイレの荷物用フックの取り付けや、レンタルシューズのサイズ追加など、指定管理者のみで対応できる範囲のものは、即座に対応していた。今後も引き続き管理運営の基準、事業計画書及び提案書に沿った一定の業務の遂行に努め、より利用者の満足度を向上させる取り組みを期待します。

次に、「履行状況の確認」ですが、履行状況につきましては、ご覧の24項目について確認いたしました。仕様、提案どおりの実績・成果があったものとして判断してございますが、5ページ目、中段にございます「自主事業の効果的な実施」、「教室・イベントの企画・誘致」、これについては、仕様、提案を上回る実績・成果があったものとして、3の評価をさせていただきます。説明でございますが、ジェフの現役選手や元ロッテの初芝清氏を招いた「アスリートキャラバン」、また、親子の親睦を深める「親子野球教室」や、

「テニス教室」など、運動施設としてのメリットを十分に生かしたイベントを多数実施したということで、3の評価をさせていただきました。追加でのご説明になるんですが、アスリートキャラバンにつきましては、事業報告のほうでは、利用促進のところ、指定管理者は報告してございますが、我々としては、それを評価する、報告として他の類似の事例等も勘案しまして、「自主事業の効果的な実施」、「教室・イベントの企画・誘致」ということで評価させていただいてございます。

年度評価につきましては以上でございます。

○織戸委員　ありがとうございます。

それでは、まず指定管理者の財務状況等に関してですが、先ほどご紹介いただきました千葉市スポーツ施設と同じ指定管理者ですので省略いたします。

指定管理者の施設管理運営のサービス水準の向上、業務効率化の方策、また、改善を要する意見等について、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。何かご意見はございますか。

○小川委員　これ、評価する方法なんですが、今、話に出ましたアスリートキャラバンのほうで、年間を通して実施していることで。これについて、千葉市のスポーツ行政の柱が、障害者スポーツの推進・普及と、トップアスリートの交流というのが2本の柱で入るんですけど、それにも合致するし、これについては評価して、評価が3になっていることが非常にいい評価の付け方だと思いました。

○織戸委員　ちょっと質問よろしいですか。指定管理者評価シートの「(3) 収支状況」の「②支出実績」で、人件費の決算額と計画額、全く同じ数字で100.0%となっておりますけれども、これは計画どおり実施された、全く計画どおりということですか。

○竹本公園管理課長　報告ではそうなっていますので。事業者のほうでそれに合わせるような方針で整理をしていると思います。実態をですね。だから、人件費はこの数字に収まるようなことでの運営をしたと判断しております。

○横山部会長　同じ項目で質問なんですけども、赤字、管理費の突発的な修繕というのは何なんでしょうか。

○竹本公園管理課長　これは庭球場の人工芝、砂入り人工芝というのがあるんですが、それがちょっと破損してしまって、早急にやらないと、もうコート全体が使えないようなものです。それから、あと、体育館にありますバスケットゴール、これらの修繕等です。

○横山部会長　これは、本来、指定管理者が負担するんですか。

○竹本公園管理課長　その辺は、協議でどちらの負担で対応するかということを決めるべき内容ですが、今回は指定管理者のほうから修繕するという申し出もございまして、対応していただいたわけでございます。

○織戸委員　内山委員さん、何かありますか。

○内山委員　これは、先ほどの管理者、テルウェル東日本さんと同じ会社で、場所もスポーツ関係でございますので、問題はないんじゃないかと伺っております。このままでも十分かなと思いますけれども。

○小川委員　この千葉公園の中庭トイレのパーテーションの要望に対して、レースのの

れんじゃ透けて見える。いわゆる、そういうレースなのか、カーテンみたいなものなのか。

○竹本公園管理課長　これはダイレクトにというより、何かがということなので。

○小川委員　職員の対応が悪いということは珍しいと思うんですけども、これ、実際あったのはどのような。

○竹本公園管理課長　これはちょっと、ご利用者の感覚による部分も結構あったりしまして、例えば、プールの監視員が小学生の女性に、自分の体を触らせると、触らせていると、そういう苦情があったことはあります。それは、監視員が触らせているのではなくて、小学生の女子児童というんですか、それが遊びの中でそういう行動をとっていたのを、横で見ていた別の方が触らせていると。それを防止するためには、口頭でのお話はしますが、完全にということになると、物理的に追い払うとかそういうようなことをせざるを得なくなりますので、そうすると、また利用者への対応としてどうかというのがありますので。その都度、その都度、実際に現場でヒアリングをして、実情を確認した上で対応させていただいております。

○織戸委員　よろしいですか。

○小川委員　わかりました。

○織戸委員　施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等の主な意見といたしましては、概ね良好な施設運営が行われていると考えられるが、まず1つ目「アスリートキャラバン等、トップスポーツと連携した事業の実施など、評価できる。」ということですね。2つ目が、「引き続き、利用者への適切な対応に努められたい。」と。両方ともオーケーというご意見かと思えます。これらがございました。これらを本部会の意見とすることによろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員　それでは、これらを踏まえ、千葉都市公園施設の指定管理者が行った施設の管理にあたり、年度評価について本部会としての意見をまとめるということになります。詳細については、私と事務局にて調整するというご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員　ありがとうございます。

では、次に、総合評価についてご審議いただきます。所管課から説明をお願いいたします。

○竹本公園管理課長　それでは、資料9-1をお願いいたします。「指定管理者評価シート」のほうからご説明いたします。」

「1 基本情報」、「2 管理運営状況」の「(1)業務の概要」につきましては、ご覧のとおりでございます。「(2)利用状況」でございます。「①利用者数」ですが、表の下から3段目をご覧いただきたいと思えます。利用者数の合計でございますが、平成23年度が47万3,794人、これに対しまして、平成26年度は52万8,090人と、利用者は伸びてございます。目標数に対しても、達成率としましては、それぞれ届かない部分がございますが、全体として利用者は伸びてきているということでございます。1番左の欄の

平成22年度は参考でありますので、56万5,360人につきましては、これは別の前回の指定管理者のときの数字でして、推測でございますが、事項内容が大きく変わったことで、23年度に落ちているということではなくて、ちょっと、カウントの手法が変わったために、こういう数字となっていると分析してございます。次に、2ページ目をお願いいたします。「②稼働率」ですが、こちら表の下から3段目、「全体の稼働率」をご覧ください。平成23年度が64.2%であったものが、平成26年度は72.3%に稼働率が伸びてございます。続きまして、右のページ、3ページ目でございます。

先ほどのページの下「3 利用者意見への対応状況」は、これまでの年度評価にございましたものを提示してございますので、ご覧のとおりでございます。

右のページ、3ページ目ですが、「4 収支状況」、「(1) 過年度の収入・支出状況」でございます。これも表の1番下ですが、収支の欄をご覧ください。平成23年度が785万2千円の黒字、平成24年度が1,565万5千円の黒字、平成25年度が434万円の黒字、平成26年分につきましては、先ほどご説明したように、突発的な修繕の影響がございまして、464万6千円の赤字です。過年度4か年の合計としましては、2,320万1千円の黒字でございます。続きまして、「(2) 管理経費の縮減に係る取組み」ですが、1つ目としまして、軽微な修繕は設備担当職員が自ら修理を実施し、修繕費を節減しています。2つ目としまして、事故報告や承認申請書等は電子データで送付し、紙文書は両面印刷を徹底することで事務費を節減しております。

続きまして、資料9-2をお願いいたします。「指定管理者総合評価シート」でございます。

「1 基本情報」につきましては、ご覧のとおりでございます。

「2 総合評価」ですが、「(1) 過年度の管理運営業務に対する評価」の「1 市民の平等な利用の確保 施設の適正な管理」につきましては、評価をAとさせていただきました。理由でございますが、個人情報の管理については、個人情報取扱業務書を作成し、個人情報を扱う者・情報の種類等を特定し、適切な管理を実施しておりました。平成23年度に業務用パソコン盗難の事件が発生しましたが、個人情報の流出はなく、その一件以来、文書庫の施錠及びパソコンのパスワード管理等を徹底しております。利用者を対象としたアンケートからは、各年度においても、概ね高評価を得てございます。続きまして、「2 市民サービスの向上」、こちらの評価としてもAとさせていただきました。理由でございますが、施設の貸し出しについては、計画に基づき、予約システムを構築し、利便性の向上を図りました。利用者支援については、急病・負傷者発生時に適切に対応しておりました。続きまして、「3 施設の効用の発揮 施設管理能力」でございます。これは評価Aといたしました。理由でございますが、利用促進については、パンフレット作成のほか、地域新聞や新聞折り込み等の媒体を活用し周知を図りました。また、夏季プール利用者を対象にポイントカードを導入し、利用促進に努めました。施設や備品の管理については、事業計画どおりに実施しており、建築基準法第12条第2項及び第4項に規定する点検の実施や、老朽化した施設の修繕を積極的に行いました。それから、自主事業については、現役のスポーツ選手を講師に招いた教室を開催するなど、利用者の興味を引く内容でありました。

自主事業につきましては、S評価とさせていただきます。ただ、全体としましてはAという評価でございます。続きまして、「4 管理経費の縮減」です。こちらも評価A。理由としましては、概ね計画通りにできていると考えられます。また、利益還元が発生したことは評価できるものであります。全体としましての総合評価は、Aとさせていただきます。以上でございます。

○織戸委員 　ただいま所管からひと通り説明をいただき、都市公園施設の総合評価につきまして評価案が示されましたが、まず初めに、この市当局の作成した評価の妥当性について、委員の皆様から意見をお聞きしたいと思っております。ご質問も含めて何かございましたらお願いします。

質問なのですが、よろしいでしょうか。

資料9-1の人数が平成22年と平成23年でずれてしまっているという話についてですが、内訳を見ると、水泳・プールが軒並みに違っちゃっているんですね。例えば、千葉公園が4万2千人が2万2千人というように。前の管理者と今の管理者では、プールが倍ぐらい違ってまして、この中ではプールの人数が1番数えやすいんじゃないかと思うんですけども、なぜこのようなずれが起こってしまうのでしょうか。もしわかれば。

○竹本公園管理課長 　原因として考えられるものはプール開催期間の縮減と東日本大震災の影響です。プールの開催期間につきましては、平成22年度まで6月15日から9月15日の3か月間だったものを、コスト縮減を図る目的で平成23年度条例改正により7月15日から8月31日の1か月半に改正したことによるものです。

また、東日本大震災により、利用休止となった施設はありませんでしたが、利用者が自粛をしたことによる減少も原因の一部と考えております。

○織戸委員 　では、評価についていかがでしょうか。

○小川委員 　私も同様に評価しています。

○内山委員 　このとおりでいいと思っております。

○織戸委員 　私もそう思います。

委員の皆様からご意見をいただきましたが、いただいたご意見を総合しますとA評価が妥当であるとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員 　ありがとうございます。

次に、施設のサービス水準向上、あるいは業務の効率化などの観点から、次期指定管理者の選定に向けての意見をいただきたいと思います。委員の皆さんから忌憚のないご意見を聞きたいと思うんですが、何かございましたらお願いします。

○小川委員 　私も、今言ったように、実績も非常にありますので、次期管理者もこのままこのグループでよいんじゃないかと思っております。

○織戸委員 　よろしいですか。

○小川委員 　はい。

○内山委員 　私も、前の会社と同じ事業でありましたら、前のスポーツ施設の会社をそのままということでもいいと思っております。

○織戸委員 横山委員はいかがでしょう。

○横山部会長 欲を言えば、もうちょっと利用者増に努めていただけないと思いますが実績がどうかというと、そんなに利用者数が増えているわけでもないですね。微増というぐらいで。もう一歩踏み込んで、さらに利用者の増加に努めていただきたいなど。そういう施策に努めていただきたいと思います。

○織戸委員 資料9-1の利用者数合計、これの最近3年間を見ますとほとんど微増ですね。

○横山部会長 稼働率としてもうちょっと改善できる気がするんですけど。

○織戸委員 では、委員の意見としては、そういうところで。

次期指定管理者の選定に向けての意見としましては、「利用者の方策、利用者の増加の方策に努められたい」、「稼働率の向上につながるような方策を検討されたい」と、以上2件です。これらを本部会の意見とすることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員 ありがとうございます。

それでは、これらを踏まえて、千葉市都市公園施設の指定管理者が行った施設の管理に係る総合評価についての本部会としての意見をまとめていくこととなりますが、詳細については、私と事務局のほうで調整するということでご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員 ありがとうございます。

施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を次期指定管理者の選定の際に、十分反映していただきたいと思います。

それでは、次に千葉市花見川区花島コミュニティセンターの、まず、年度評価について所管課より説明をお願いいたします。

○田野花見川区地域づくり支援室長 花島コミュニティセンターにつきまして、ご説明いたします。資料10「平成26年度指定管理者評価シート」をご覧ください。

まず、「1 基本情報」ですが、指定管理者は、テルウェル東日本・スポーツクラブNASグループ、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間でございます。

次に、「2 管理運営の実績」ですが、まず「(1) 主な実施事業」の「①指定管理事業」につきましては、ご覧のとおりでございます。施設の貸出事業及び維持管理業務は適切に行われております。「②自主事業」につきましては、「心と身体に優しいヨガ教室」については、通年開催しまして、「ベビーマッサージ教室」など定期的な自主事業を開催しております。次に、「(2) 利用状況」につきましては、平成26年度の利用者数は6万9,815人で、前年度比105.9%となっております。「②稼働率」につきましては、29.8%で、ほぼ昨年度と同様の数値となっております。次に、「(3) 収支状況」につきましては、利用料金収入が計画額に対して91.6%と計画額に届かなかったものの、支出実績が計画額よりも減少したことから、収支実績は48万3千円の黒字となっております。次に2ペー

ジ目、「(4) 指定管理者が行った処分の件数」、これは施設の貸出における許可ですが、ご覧のとおりでございます。「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」はございませんでした。

次に、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてでございます。まず、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」についてでございますが、アンケート調査は、諸室利用者を中心に2回実施しております。調査の結果といたしましては、ご覧のとおりでございます。カッコ内の数字が1回目となっております。各項目において、「不満足」、「非常に不満足」との回答が少なく、概ねよい評価をいただいております。特に、清掃等については、「大変満足」、「満足」が70%を超えていまして、昨年度の68%から、さらに改善しております。施設が比較的新しいことを考慮しても、よい評価であると考えております。

また、「③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」ですが、特段の苦情は見受けられず、予約システムについてのご意見があったものの、現在の予約システムの仕組み等を説明いたしまして、ご理解をいただけるよう努力しております。次に、「(2) 市に寄せられた意見、苦情」については、特にございませんでした。

次に、「4 指定管理者による自己評価」につきましては、積極的な自主事業と地域イベントの活性化、登録サークルの増加、利用者や地域の方々との交流、人材育成に力を入れたことを評価しております。

次に、「5 市による評価」ですが、評価はAといたしました。理由といたしまして、稼働率について、前年度とほぼ同様であり、利用料金収入は目標額に到達しなかったものの、登録サークル数は大幅に増えていること。自主事業は、前年度を上回る48教室を実施し、指定管理者の特色であるスポーツ系教室を中心に、様々な年代を対象とした事業を開催し、前年度を上回る参加人数となっていること。その他の管理運営については、事業計画どおり行われているからです。また、「履行状況の確認」につきましては、ご覧のとおりでございます。評価を3とした項目は、4ページ目、下から8つ目の「自主事業の実施状況」です。先ほどご説明したとおり、様々な自主事業を実施し、教室数、参加人数ともに前年度を上回っていることなどを評価しております。その他の項目においては、概ね仕様、事業計画通りの実績・成果が認められたため、2点としております。花島コミュニティセンターの説明につきましては、以上でございます。よろしく申し上げます。

○織戸委員 ありがとうございます。

それでは、まず、指定管理者の財務状況等に関してですが、こちらにつきましても、先ほどのスポーツ施設及び都市公園施設と同じ指定管理者ですので、省略いたします。

次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準の向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点等について、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を賜りたいと思います。何かご意見はございますか。

○小川委員 質問なんですけど、最初のこの1ページの収支状況の中で、これ、自主事業なんです。自主事業で、こういう募集定員に対して充足率50.1%の減少による減額とありますよね。そういうことは、この自主事業の評価のAのほうだと、これ、48教室

のうちスポーツ系教室は、昨年度より非常に増えていると。すると、スポーツ系教室は参加者が多いけれども、文化系の教室は参加者が少ないということですか。

○田野花見川区地域づくり支援室長　これは定員が、例えば30名とした場合、半分ぐらいしか参加者がいらっしやらなかったということです。また、スポーツ系、文化系、確かに差があります。例えば、26年度ですと、48教室ある中で文化系が25教室、スポーツ系が23教室と、大体半々ぐらいの教室数になっております。

○小川委員　失礼ですけど、そうすると、自主事業の実施そのものはされているということで評価されたんですか。これは、今言った定員に満たなくても、その実施がきちんとされていれば大丈夫ということですか。

○田野花見川区地域づくり支援室長　定員に満たないにしても、数多く自主事業をすることによって、コミュニティセンターがどういうものかを知っていただくことが目的です。自主事業を企画して、コミュニティセンターに足を運んでいただいて、『コミュニティセンターってこんなところですよ』というようなことを広く知っていただくことによって利用者数を増やすことを目的としています。

○横山部会長　やはり、自主事業については評価できると思うんですけども、絶対的な稼働率が非常に低いので、稼働率の向上と利用者数の向上に努めていただきたいと思えます。意見です。

○田野花見川区地域づくり支援室長　花島コミュニティセンターは、市内にある13館のコミュニティセンターの中でも、駅から遠く、交通の便でも不便な場所にあります。バスもそれほどなく、1時間に2、3本とかです。また、車で来られる方が多くいらっしやる。そういったところを見ても、地理的なものがあって、駅の近くのコミュニティセンターと比べると、やはり稼働率というところは、あまり見込めません。

ただ、それで妥協するのではなくて、いろいろな自主事業を行って、PRするなどの努力をしているところです。

○横山部会長　地理的に不利な条件があるとしても稼働率向上に努められたいと思えます。

○小川委員　これ、所管が違いますが、北谷津温水プールは、必ずしも場所的に良くはないけど、そこはすごい利用者が多いんですよね。何か理由があるんですか。

○スポーツ振興課　多いです。10万人ぐらいですね。

○小川委員　圧倒的に必ずしもあそこはいいところではないですよ。

別にこれはいいです。

○織戸委員　私も稼働率が気になっていまして、これ、計算の仕方は、毎年同じ計算の仕方。

○田野花見川区地域づくり支援室長　同じです。

○織戸委員　部屋が幾つかあるわけですね。

○田野花見川区地域づくり支援室長　はい。

○織戸委員　例えば1つの部屋が、1か月30日のうちに10日しか使わなかったら、あとの20日は空いている。その場合は、その1つの部屋が空くと稼働率は30%。

○織戸委員 1日で朝から夕方まであって、時間は。

○田野花見川区地域づくり支援室長 時間は6コマになるんです。1日6コマです。2時間単位で、9時～11時、11時～13時、13時～15時と2時間刻みです。

○織戸委員 6コマ。そうすると、毎日2コマずつは埋まっていた、という理解でよろしいのでしょうか。

○田野花見川区地域づくり支援室長 稼働率が30%ということは、そういうことでございます。

○織戸委員 これ、常識的に30%というのは、高いほうなんですか、低いほうなんですか。

○田野花見川区地域づくり支援室長 非常にその辺のところというのは、なかなか判断が難しいと思うんですけど、何年もやっている中でこのぐらいの稼働率です。この稼働率につきましては、平成23年度当時から、大体30%です。この後の総合評価で稼働率の資料がありますが、確かに平成22年度は高かったんですが、平成23年度になって大きく減少しています。これはコマ数の数え方が変わったことが影響しています。

○織戸委員 他にご意見はありますか。

(なし)

○織戸委員 施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等の主な意見といたしましては、「概ね良好な施設運営が行われていると考えられるが、地理的な要素があるとしても、自主事業の創意工夫により稼働率の向上に努められたい。」という意見でよろしいでしょうか。

○横山部会長 自主事業そのものについては、評価してもいいんじゃないかと思うんですけど。

○織戸委員 そうですね。では、改めまして、「自主事業につきましては、かなり評価できる水準にある。」と。2点目として、「地理的な制約があるとしても、稼働率の向上に努められたい。」、こういう意見でよろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員 ありがとうございます。

それでは、これらを踏まえて、千葉市花見川区花島コミュニティセンターの指定管理者が行った施設の管理に対する年度評価についての本部会としての意見をまとめるということになりますが、詳細については、私と事務局にて調整するというところでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員 ありがとうございます。それでは、総合評価についてご審議いただきます。所管課から説明をお願いいたします。

○田野花見川区地域づくり支援室長 それでは、花島コミュニティセンターの総合評価につきまして、ご説明いたします。資料11-1「指定管理者総合評価資料」をご覧ください。

「1 基本情報」と「2 管理運営状況」の「(1) 業務の概要」については、ご覧のと

おりとなっております。次に「(2) 利用状況」ですが、指定期間当初からの推移について、表にまとめております。まず、「①利用者数」については、平成23年度から平成25年度にかけて徐々に減少したものの、平成26年度には増加し、前指定管理者が管理していた平成22年度を上回る利用者数となりました。また、「②稼働率」については、指定期間を通じて30%前後を維持しております。前指定管理者が管理していた平成22年度の稼働率には届きませんでした。これは、諸室の利用時間が1コマ4時間から2時間に変更されたことが要因であると考えられます。

次に、「3 利用者意見への対応状況」ですが、従業員に対する苦情に対しては、その都度、改善が図られるよう指導しております。また、設備・運営への意見に対しては、可能な限り要望に応えるよう対応しており、予約方法に対する意見に対しては、趣旨をご理解いただけるよう丁寧に説明しております。

3 ページ目をご覧ください。まず、「4 収支状況」の「(1) 過年度の収入・支出状況」ですが、最後の行の収支のとおり、すべての年度において黒字を維持しております。次に、「(2) 管理経費の縮減に係る取組み」についてですが、照明の間引き、不要箇所の消灯による電気使用量の節減、簡易な修繕等を指定管理者自らが行うことによる外注費の削減などを行い、支出の削減に努めておりました。

次に、資料11-2「指定管理者総合評価シート」、1 ページ目をご覧ください。「1 基本情報」については、ご覧のとおりとなっております。

次に、「2 総合評価」の「(1) 過年度の管理運営業務に対する評価」ですが、評価をSとしたものについてご説明いたします。2 ページ目をご覧ください。評価項目「2 施設の効用の発揮 施設管理能力」の「(4) 自主事業実施の考え方」については、平成23年度は計画通りに実施できなかったものの、平成24年度以降は計画通りに実施されていて、また、指定管理者の特色であるスポーツ系教室を中心に、様々な年代を対象とした自主事業を開催し、好評を得ていることを評価し、Sといたしました。その他の評価項目については、概ね事業計画通りの実績・成果が認められるため、評価をAといたしました。

最後に、総合評価については、「概ね事業計画通りの実績・成果を認められた」と判断し、Aといたしました。説明は以上でございます。

○織戸委員 　ただいま所管から説明をいただき、花島コミュニティセンターの総合評価につきまして、評価案が示されました。

　まず始めに、この市当局が作成した評価の妥当性について、委員の皆様から意見をお聞きしたいと思います。ご意見も含めて何かございましたらお願いします。

○横山部会長 　指定管理者がどのような利用促進をなされているかわからない部分もありますけれども、これ以外のことについては、概ね市の評価でいいんじゃないかなと思います。

○織戸委員 　概ね市の評価でよろしいということ。

○横山部会長 　はい。

○織戸委員 　他にはいかがでしょうか。

○小川委員 　平成26年度は利用者数も増えておりますし、評価はAで妥当だと思います。

す。

○内山委員 私も同じでございます。

○織戸委員 ありがとうございます。

委員の皆様から意見をいただきましたが、いただいた意見を総合しますと、A評価が妥当であるとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員 ありがとうございます。

次に、施設のサービス水準向上、あるいは業務の効率化などの観点から、次期指定管理者の選定に向けての意見をいただきたいと思います。委員の皆様から忌憚のないご意見を聞きたいと思いますが、何かございましたらお願いします。

○内山委員 先ほど横山部会長さんが言われたとおり、これでよいと思うんですけど、もう少し稼働率を上げるように努力していただきたい。

○織戸委員 稼働率を上げていただきたいと。他にはございますか。

○横山部会長 同じような意見ですけど、稼働率向上のために先ほど申し上げた、利用促進の方策であるとか今後のプロモーションについて積極的に展開していただきたいと思いますので。その点を含めて事務方と次期指定管理者には頑張っていただきたいと思っています。

○織戸委員 ちょっと質問で、数字の確認なんですけどよろしいでしょうか。

3 ページ目の収支状況で、過年度合計の数字で、自主事業、1 番右側 4 1 4 万 7 千円、これが過年度の自主事業に係る 4 年間の収入合計という理解でよろしいですね。

○田野花見川区地域づくり支援室長 はい。

○織戸委員 これに対して、支出がいくらかかったかというのが、下のほうにあります 4 3 8 万 3 千円ということですね。

○田野花見川区地域づくり支援室長 はい。

○織戸委員 自主事業だけに限ってみると、ちょっとした赤字になっているということではよろしいですか。

○田野花見川区地域づくり支援室長 そうです。

○織戸委員 わかりました。ただし、それらを含めても、合計すると本来の指定管理事業なども含めて、7 9 2 万 3 千円の利益が出ていますということですね。

○田野花見川区地域づくり支援室長 そうです。

○織戸委員 わかりました。他には、次期に向けてのご意見、もしあれば。いかがでしょうか。無いようでしたら、取りまとめにさせていただきます。

(なし)

○織戸委員 次期指定管理者の選定に向けての意見としましては「利用促進や広報活動の充実を図るなど、稼働率が上がる方策を検討していただきたい。」などがございました。このような意見を本部会の意見とすることではよろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員 ありがとうございます。

それでは、これらを踏まえて千葉市花見川区花島コミュニティセンターの指定管理者が行った施設の管理に係る総合評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細につきましては、私と事務局にて調整するというご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○織戸委員 ありがとうございます。

施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を、次期指定管理者の選定の際に十分反映していただきたいと思います。

以上で、指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価についての審議は終了します。

それでは、次に、議題2「その他」についてですが、事務局から何かありますか。

○山根市民総務課長 では、今後の予定についてご説明をさせていただきます。

本日、委員の皆様に取りまとめていただきましたご意見等につきましては、スポーツ部会長から選定評価委員会の会長にご報告をいただき、その後、会長さんから市長に、委員会の意見、そして答申をしていただくという流れになります。この委員会の答申を受けまして、各施設所管課が、委員会のご意見を指定管理者評価シートに記載し、9月の月上旬に市ホームページに掲載し公表すると。同時に、指定管理者へも通知するということとなります。

また、部会の会議録及び委員会会長からの答申につきましても、同様に市のホームページにて公表することとなります。その公表の時期等が決まり次第、委員の皆様にはご報告をさせていただきます。

なお、今回の部会の会議録につきましては、後日、委員の皆様にご確認をお願いしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

以上でございます。

○織戸委員 ただいまの事務局からの説明について、何かご質問、ご意見はございますか。

(なし)

○織戸委員 その他、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(なし)

○織戸委員 では、皆様方のご協力によりまして、本日の議事はすべて終了しました。ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しいたします。

○佐久間市民総務課長補佐 長時間にわたり、ご審議ありがとうございました。

以上をもちまして、平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第2回スポーツ部会を閉会させていただきます。

なお、次回の部会の日程等につきましては、後日、事務局より改めてご連絡申し上げます。何度もお集まりいただくことになり大変恐縮でございますが、よろしくお願いいたします。

本日は、誠にありがとうございました。